

〔保護者・校区の願い〕
 ○学力と体力の向上
 ○自尊心の高揚
 ○規範意識の醸成

【教育目標（中学校）】
 将来ビジョンやその実現に向け時代の移り変わりに対応できる子どもの育成

〔子どもの実態〕
 ○学ぶ姿勢と学ぶ意欲や学習習慣の格差
 ○固定的な人間関係による自尊心の低下
 ○将来の自分を見出せず、目先の進路に戸惑う
 ○家族形態の変容によるライフスタイルの多様化

〔目指す校区像〕
 ○ともに学び合い、笑顔と活気があふれる校区
 ○個に応じた指導と支援、相談に取り組む校区
 ○地域から信頼され、安心して任せられる校区
 ○6年後のやすらぎのあるまちを創造する校区

〔目指す子ども像〕
 ○礼節を大切にし、思いやりの心がもてる子ども
 ○授業を大切にし、自分の可能性を追求する子ども
 ○学び合いを通して自己の学びを振り返る子ども
 ○夢の実現に向けてこれからの時代を生き抜く子ども

〔目指す教師像〕
 ○社会性を備え、法津・法令を遵守する教師
 ○高い識見と専門的知識、豊かな人間関係と深い教育的愛情や教育に対する使命感がある教師
 ○教育公務員として学力検査の県平均を上回る授業力
 ○家庭や地域等との連携を大切にする教師

校区のキャリア発達上の課題
 前期段階で丁寧他者に働きかける力や肯定的自己理解力を育てる必要がある。中・後期では、学習と自己のキャリアとの関連性が希薄になり、将来設計が不明瞭になっているため、課題対応能力が育っていない。また他人を尊重しながら、地域の一員として社会に参加し、その役割を果たす資質・能力（シチズンシップ）が育っていない。

校区のキャリア教育の全体目標
 自己や地域の将来像を見据え、その実現に向け自ら課題を解決しようとするとともに、未来予測しながら計画的に物事を進めることができる子どもの育成

校区で育成すべき能力や態度（基礎的・汎用的能力）			
（人間関係形成・社会形成能力）	（自己理解・自己管理能力）	（課題対応能力）	（キャリアプランニング能力）
<ul style="list-style-type: none"> 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝える。 自分の役割を果たしつつ、他者と協力・協働して物事に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の個性に気づき、今後の自分自身の可能性を含めて肯定的に理解する。 自分の行動を律するとともに、自己実現に向けた目標を設定し、継続して努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や学習の中で課題を見出し、その解決のために努力する。 様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「働くこと」の意義を理解し、日常の生活と将来の生き方との関係を理解する。 多様な生き方に関する情報を適切に取捨選択・活用し自分のキャリアプランを作ることができる。

【各教科】
 ○授業の中で、成就感・自己有用感を感じさせる。
 ○将来の職業生活に必要な基礎的知識や技能の習得を図る。

【道徳科】
 ○問題意識をもち、自己を見つめ、道徳的価値を自分自身との関わりで捉え、自己の生き方について考える学習の充実を図る

各期の重点目標		
前期（小1～小4）	中期（小5～中1）	後期（中2～中3）
<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝えることができるとともに、友だちと協力して活動することができる。 自分のよさがわかるとともに、すべきことを最後までやり通すことができる。 学級や身の回りの課題に目を向け、自分の力で課題解決に取り組むことができる。 将来の夢や希望をもつために、計画作りの必要性に気づいたり手順を理解したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの気もちや考えを理解するとともに、自分の役割と責任をはたしながら、周りや協力して行動することができる。 自分の長所や短所を自覚し、自分の役割に責任をもち、見通しをもって活動することができる。 学校や地域の課題に目を向け、課題解決に向けて必要な情報を収集し、課題解決を図ることができる。 将来の夢や希望をもち、高い目標を立てて努力したり、自分の長所を伸ばしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な考えや他者の立場を理解し、互いを支え合いながら活動することができる。 自分のよさや個性を理解するとともに、自己の役割を自覚し、主体的に活動することができる。 地域や未来社会の課題に目を向け、課題解決に向けて、計画を立て、実施・評価・改善をすることができる。 将来の夢や希望の実現のために、自らの生き方を模索し、自分の意志と責任で進路を選択することができる。

【総合的な学習の時間】
 ○学び方やものの考え方（てつがく的思考）を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える。

【特別活動】
 ○自主的・実践的な活動を通して、主体的な態度を育成する。
 ○個人および社会の一員としての在り方、学校生活の充実及び将来の行き方と進路の適切な選択に関する指導の充実を図る。
 ○将来設計能力や自己決定能力などを培い、個性の伸長や社会性を高める。